

出題分析			
試験時間	60分	配点	40点
		大問数	5題
分量 (昨年比較)	[減少 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">同程度</span> 増加]	難易度変化 (昨年比較)	[易化 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">同程度</span> 難化]
<p><b>【概評】</b></p> <p>出題形式は選択式問題 34 問と論述問題 1 題で、論述問題の文字数が 250～300 字だった。論述問題を除く大問 4 題は、正誤文判定問題が中心ですべて例年通りだった。正誤文判定問題は一部に細かい問題があったものの、比較的判断しやすい問題が多く、論述も難しくなかった。総合すると難易度は昨年並みと言える。内容としては古代から近代まで幅広い問題が出題された。</p>			

設問別講評			
問題	出題分野・テーマ	設問内容・解答のポイント	難易度
I	中国の河川	設問 1-④, 良渚文化は長江下流域の新石器文化であるので水田農耕を基盤とすることは正しい。なお, 他の特徴としては玉器が挙げられる。設問 4 の年代並び替えは容易。設問 6-①, 中世ヨーロッパの黒死病はモンゴル勢力から伝染したものとされる。	やや易
II	古代オリエント	設問 1, シュメール人の都市国家の位置を今一度地図で確認しよう。設問 2-エ, ロゼッタ=ストーンには上から神聖文字, 民用文字, ギリシア文字が刻まれている。設問 8-エ, ポトシ銀山はボリビアに位置する。設問 9, インダス文明の代表的な遺跡としてはシンド地方のモエンジョ=ダール, パンジャーブ地方のハラッパーに加えて, グジャラート地方のドーラヴィーラーがある。	やや易
III	主権国家・絶対王政論への批判	設問 4-3, ジョージ王戦争はオーストリア継承戦争と並行した北アメリカ植民地での戦争だが, わからなくても消去法で解けるだろう。設問 5, ギルドの廃止は国民議会で決められた。理性崇拝の宗教の導入は, 山岳派内の左派中心に国民公会で進められた。設問 8-1, バクーニンはアナキストで, 第 1 インターナショナルではマルクスを権威主義的と批判して対立し, 除名された。	標準

設問別講評			
IV	近代の太平洋地域	設問3-I, マオリ人は19世紀後半にマオリ戦争を起こしてイギリスに抵抗した。ロ, ミクロネシアは一般に, ポリネシア以西, 赤道以北の太平洋諸島を指す。ハ, ニューゼーランドでは1893年に女性参政権が認められたが, これは選挙権のみであった。また, ニューゼーランドは当時自治領ではなかったことにも注意。ニ, ニューゼーランドやオーストラリアは第一次世界大戦で協商国側で派兵している。設問5-I, 近衛文麿内閣は1938年の声明で「東亜新秩序」を唱えた。ハ, 日本軍は占領したシンガポールにおいて華人・華僑の虐殺事件を起こしている。設問7-第1回パグウォッシュ会議は1957年。フランスの原爆実験は1960年。設問8-I, ニューカレドニアがフランス領となったのは1853年で, 現在もフランス支配が続いている。ニ, ニューギニア島西部は旧オランダ領である。	やや難
V	インドにおける宗教融和と対立	イギリス支配以前ではアクバル帝のジズヤ廃止, アウラングゼーブ帝のジズヤ復活を盛り込む。インド大反乱は分割統治のきっかけであったことに言及したい。ベンガル分割令は付随して全インド=ムスリム連盟の設立, そこから新インド統治法までの間では両教徒が協力した第1次非暴力・不服従運動について述べる。新インド統治法後については, 州議会選挙で伸び悩んだムスリム連盟が分離独立の主張を強めたことまで書こう。	標準

#### 合格のための学習法

正誤文判定問題の難易度は近年それほど高くない。基本的な教科書学習と用語集による補足を中心に学習を進めていけば, 十分対応できる。ただし, 一部に難しい問題もあることには留意してほしい。論述問題は指定語句を軸に, 書くべき要素を組み立てていくことが基本である。個々の指定語句が全体の流れの中でどんな意味をもっているのかを理解することが大切である。解答作成の手順を, 過去問等を利用して訓練していこう。